



(2023年4月現在)

国立病院機構いわき病院は、1919年（大正8年）に福島県立結核療養所回春園として塩屋埼灯台を望むいわき市豊間海岸に開設されました。現在は、結核に代わり神経難病や重症心身障がいなど、長期にわたってきめ細やかなケアを要する疾患の患者さんを多数受け入れています。



東日本大震災では、津波により大きな被害を受けましたが、職員一丸となって早期に診療再開にこぎつけ、創立百周年の2019年には小名浜野田地区の新病院へ移転が完了しました。

<療養介護病棟>

- 1病棟：重症心身障がい児（者）52床
- 2病棟：重症心身障がい児（者）32床、神経難病20床混合病棟 併せて52床
（障がい種別や程度による配置は行っておりません。また、年齢（児・者）での定員区分も設けておりません。）

☆療育指導室スタッフ☆

児童指導員 2名 保育士 6名 業務技術員 1名 計 9名





地域から親しまれ、愛される病院を目指して、いわき病院公認キャラクターのご紹介♡

P. ラビ・ゼルちゃん

☆プロフィール

(生まれた場所) いわき市平豊間字兔渡路 (とどろ)

(アピールポイント)

- つぶらな瞳はいわきの魚メヒカリ
- 優しいピンク色のナース服
- 病院に咲くハマナスの花の模様
- 大好きな海のカモメのポシェット
- いわき病院ロゴ入りのナースキャップ
- やさしい天使の羽が付いています



手に持つ赤いハートのスティックは病院全体の心です。

医師や看護師が質の高いサービスを提供しますという思いが込められています。

(口癖) いつも最後にぴよんをつけてしまう

(役職) いわき病院「広報宣伝部長」(本人の希望です)



療育活動の様子

移転をして初めての行事は、院内ツアー！ステキなガイドで、院内外をツアーしお披露目となりました。スヌーズレン室やハンモックもあります！



年に一度、近隣にバスハイキングに出かけていますが、今はコロナ禍のため、院内でできる体験教室(プラネタリウム、染物体験、写真館等)を、スタッフや仲間と一緒に楽しんでいます。





朝の会では、療育棟でふたつの病棟が集まって活動しています。（現在は病棟毎）
晴れた日にはテラスでも活動を楽しんでいます。



午後は、グループ活動・個別活動で過ごしています。それぞれのニーズに合わせた活動を大切にしています。



訪問学級があり、児童の皆さんは院内で授業を受けています。支援学校の生徒さんとリモートをつなげて、一緒に学習を行うなど、交流をしています。



成人・還暦お祝い会

クリスマス会

